

口径別水量分析

1 口径13mm (主にアパートの共用メーター)

	H18	割合	H28	割合	H28-H18	増減割合
件数/6	3,055	6.74%	2,768	5.72%	-286	-9.4%
水量(m ³)	502,568	3.33%	350,053	2.69%	-152,515	-30.3%

分析結果

件数・水量ともに大幅に減少している。しかし、平成27年度から28年度にかけては、水量が336,654m³から350,053m³と増加し、1件あたりの水量も21m³から21.1m³と微増となっており減少傾向に歯止めがかかっている。

2 口径20mm (一般家庭)

	H18	割合	H28	割合	H28-H18	増減割合
件数/6	39,114	86.35%	42,450	87.69%	3,336	8.5%
水量(m ³)	10,374,239	68.80%	9,479,830	72.93%	-894,409	-8.6%

分析結果

世帯数の増加により件数は増加しているものの、水量が緩やかに減少している。1件当たりの水量の減少は平成28年度は他の年度に比べ小さくなったが、減少傾向は依然継続している。

3 口径25mm (小規模のアパートの親メーターや一般家庭の比較的大きい家等)

	H18	割合	H28	割合	H28-H18	増減割合
件数/6	2,616	5.78%	2,669	5.51%	52	2.0%
水量(m ³)	1,490,653	9.89%	1,221,646	9.40%	-269,007	-18.0%

分析結果

賃貸住宅の増加に伴い件数は増加しているが、1件当たりの水量が減少したことにより水量が減少となっている。1件当たりの水量は年度によって減少幅に変動はあるが平成18年度と比較すると水量・1件当たりの水量ともに大幅に減少している。

4 口径30mm (飲食店、アパート、診療所等)

	H18	割合	H28	割合	H28-H18	増減割合
件数/6	248	0.55%	244	0.50%	-4	-1.7%
水量(m ³)	509,216	3.38%	401,178	3.09%	-108,038	-21.2%

分析結果

件数・水量とも減少している。年度によって減少幅に変動はあるが平成18年度と比較すると水量・1件当たりの水量ともに大幅に減少している。

5 口径40mm (ホテル、大型の飲食店等)

	H18	割合	H28	割合	H28-H18	増減割合
件数/6	137	0.30%	149	0.31%	12	9.0%
水量(m ³)	407,564	2.70%	392,652	3.02%	-14,912	-3.7%

分析結果

件数は増加しているが水量は微減となっている。平成18年度と比較すると1件当たりの水量は大きく減少したが、件数は増加したため、水量の減少幅は小さくなっている。

6 口径50mm (マンションやビル等)						
	H18	割合	H28	割合	H28-H18	増減割合
件数/6	95	0.21%	103	0.21%	8	8.6%
水量(m ³)	607,702	4.03%	549,838	4.23%	-57,864	-9.5%

分析結果

件数は増加しているが、全体の水量は緩やかに減少している。平成18年度と比較すると1件当たりの水量が大幅に減少しているため、水量は9.5%の減少となっている。

7 口径75mm (大型工場、病院、小中学校、大型の公共施設等)						
	H18	割合	H28	割合	H28-H18	増減割合
件数/6	27	0.06%	24	0.05%	-3	-11.7%
水量(m ³)	696,075	4.62%	475,405	3.66%	-220,670	-31.7%

分析結果

件数・水量ともに減少している。平成18年度と比較すると1件当たりの水量、件数ともに減少しているため、水量は、大幅に減少している。

8 口径100mm (食堂・社員寮等)						
	H18	割合	H28	割合	H28-H18	増減割合
件数/6	5	0.01%	5	0.01%	0	-3.2%
水量(m ³)	178,766	1.19%	127,644	0.98%	-51,122	-28.6%

分析結果

件数・水量ともに減少している。平成18年度と比較すると1件当たりの水量、件数ともに減少しているため、水量が大幅に減少している。

合計						
	H18	割合	H28	割合	H28-H18	増減割合
件数/6	45,298	100%	48,412	100%	3,114	6.9%
水量(m ³)	15,079,720	100%	12,998,246	100%	-2,081,474	-13.8%

分析結果

平成18年度と比較すると工場や学校などの口径75mm以上の大口径は、水量が30%程度の大幅な減少となっている。75mm以上の大口径の水量が減っているため、平成18年度と比較し水量に対する口径20mmの割合が高くなっている。

注:件数は、1期(2ヶ月分の料金)を1件とカウントしているため、1年使用すると1使用者が6件となるため、6で除している。